

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1217	(H.24)No.	1217
-----------	------	-----------	------

事務事業名 <b>安心子ども基金地域子育て創生事業</b>			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	508506
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	青少年健全育成事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年対策費	安心子ども基金地域子育て創生事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要
三重県安心子ども基金地域子育て創生事業に基づく事業 ・市町における子どもの育ちを支える地域づくり支援事業

めざす効果(事業目的)
・市町における子どもの育ちを支える地域づくり支援事業 非行防止や環境浄化活動による地域づくり活動推進

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	非行防止パトロールや、「子どもを守る家」等のボランティアと、子どもが顔見知りになるとともに、子どもが不審者等に遭遇した時や、急病になった時の対処方法を、講演会や、ロールプレイの実演等による指導を行い、活動用のタペストリー、スタッフジャンパーの作成を行った。 消耗品費715千円 備品購入費270千円		補助金・交付金	その他 ( )	
直接事業費	985千円				
財源内訳(千円)			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
国庫支出金					
県支出金	985				
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.01人				
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 73千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 1,058千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	回	-	-	-	-	-
	実績					4	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
子どもたちが危険な目にあった際助けを求める訓練を行ったり、「子どもを守る家」の人たちと面談することにより、いざという時に、逃げ込みやすくなった。また、「名張少年サポートふれあい隊」「子どもを守る家」のメンバーも子どもたちに気軽に声かけをできることになり、子どものSOSサインに気づきやすい環境ができた。	青少年健全育成事業において、取り組みます。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
少子化や、情報化の進展などにより、青少年をとりまく環境が著しく変化し、子どもの居場所づくりや、体験学習機会の充実が求められています。また、少年が関係した凶悪事件など、青少年をめぐる問題は、より深刻になり、地域ぐるみで、子どもたちを守る体制が必要となっています。	

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項